

四国こどもとおとなの医療センターを受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センターでは、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液）を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

| | |
|--------------------|---|
| 研究課題名 | 小児（0歳～15歳）における各種ビタミンD代謝物の評価 |
| 研究機関名 | 愛媛大学、日本電子株式会社 |
| 試料・情報の提供を行う研究機関の長 | 四国こどもとおとなの医療センター 病院長 前田 和寿 (試料・情報の提供元の管理責任者) |
| 研究責任者 (個人情報管理者) | 農学部地域健康栄養学分野・研究員 (氏名) 猪川 聡美 |
| 研究期間 | 研究機関の長の許可日 ～ 2026年 3月 31日 |
| 対象 | 2023年9月から2025年3月に四国こどもとおとなの医療センターを受診された方のうち、「こどものビタミンD欠乏を早期発見するための簡易質問票の開発と妥当性の検証」(承認番号 2309011)の研究に同意した時点で15歳以下の患者さん |
| 利用する試料・情報等 | (利用するカルテ情報) 性別、年齢、病名、病歴、服薬、採血日(季節)、臨床検査値(血液および尿) (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料(血液) |
| 研究の概要 | ビタミンDの欠乏は骨疾患だけでなく自己免疫疾患やがんなどさまざまな疾患の発症リスクと考えられています。ビタミンDの充足度は一般的に血中25(OH)D濃度で評価されますが、ビタミンD代謝には個人差があり、生理的な不足を鋭敏に反映するビタミンD代謝マーカーが必要です。本研究では小児(0歳～15歳)の血液中のビタミンD代謝物を網羅的に解析し、疾患や生活習慣との関連を明らかにすることを目的としています。 |
| 個人情報の取扱い | 収集した試料・情報は名前など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、愛媛大学で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術 |

| | |
|---------|--|
| | 雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。 |
| お問い合わせ先 | 愛媛大学農学部地域健康栄養学分野 猪川聡美 〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目5-7 Tel: 089-946-9960 |

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、名前など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、パスワードで保護した電子ファイルが日本電子株式会社に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

| | |
|-------------------|---------------------------|
| 研究代表者 | 愛媛大学農学部地域健康栄養学分野・研究員・猪川聡美 |
| 共同研究機関 | 日本電子株式会社 |
| 既存試料・情報の提供のみを行う機関 | 四国こどもとおとなの医療センター |